

平成18年3月8日

各位

地域経済・経営シンポジウムのご案内
-マネジメント専攻設立5周年を記念して-

広島大学大学院社会科学研究所
マネジメント専攻長

戸田 常一
広島大学大学院社会科学研究所附属
地域経済システム研究センター長
伊藤 敏安

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

マネジメント専攻は産声をあげて5年を過ぎ、6年目を終えようとするこの時期、設立5年を節目としたシンポジウムを開催いたします。民間と行政を問わず、組織の一般社員・職員に対する教育・研修はもちろん、組織のリーダーのための専門知識の習得は、その組織内で重要な課題とされてきました。本専攻は、このような時代の要請に応え、自己のブラッシュアップを目指す職業人や組織の将来を担う人材を対象として、新しい時代の要請に対応した理論的かつ実践的な教育プログラムを提供する社会人向け夜間大学院として発足しました。本専攻では、研究者としての教員が院生を通じて現場に触れ、院生は最新の理論やノウハウに触れることによって、教員と院生が一体となったコラボレーションが行われ、新しい何かを産み出される場の提供をねらいとしてきました。

そこで、本シンポジウムにおいては、「理論と実践の融合」を共通テーマとして設定し、第1部においてその意義と必要性についてあらためて考え、さらに第2部では本専攻の修了生・在院生による報告を通じて本専攻の取組みを振り返ります。そして、本専攻の将来展開のあり方をともに考えたいと思います。

時節柄御多用のこととは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。また、ご関心をお持ちの方や関連部局の方々に本シンポジウムにご出席下さるようお願いいただければ幸いです。シンポジウムへのご出席は無料です。

また、別紙のとおり懇親会を開催いたしますので、ご出席いただければ幸いです。

シンポジウムへご出席いただけます場合は、同封の申込書にご記入いただき、平成18年3月21日（火）までに下記宛にお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

敬具

(お問い合わせ先)

広島大学大学院社会科学研究所マネジメント専攻

〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1-89

TEL/FAX (082)542-6980

担当：鈴木朋子(マネジメント専攻助手)

シ ン ポ ジ ウ ム 参 加 申 込 書

下記に必要事項をご記入の上、ご出席予定の欄に○印をお付け下さい。
申込欄の足りない場合はお手数ですが本用紙をコピーしてお申し込み下さい。

貴 機 関：

住 所：

T E L：

F A X：

E-m a i l：

お 名 前	お 役 職 名	【午前の部】 基調講演 パネル討論会	【午後の部】 報告会	懇親会

平成17年3月21日(火)までに下記宛へお知らせ下さい。

申込受付 FAX (082) 542-6980

広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻

〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1-89

TEL (082)542-6980

担当：鈴木朋子(マネジメント専攻助手)

地域経済・経営シンポジウム・プログラム

—マネジメント専攻設立5周年を記念して—

主催 広島大学大学院社会科学研究所マネジメント専攻
共催 広島大学大学院社会科学研究所附属地域経済システム研究センター
後援 地域経済研究推進協議会・広島大学マネジメント学会

日時 2006年3月25日(土)
場所 東千田キャンパスB棟2階大講義室

共通テーマ：『理論と実践の融合』

【趣旨】 マネジメント専攻は産声をあげて5年を過ぎ、6年目を終えようとするこの時期、設立5年を節目としたシンポジウムを開催いたします。民間と行政を問わず、組織の一般社員・職員に対する教育・研修はもちろん、組織のリーダーのための専門知識の習得は、その組織内で重要な課題とされてきました。本専攻は、このような時代の要請に応え、自己のブラッシュアップを目指す職業人や組織の将来を担う人材を対象として、新しい時代の要請に対応した理論的かつ実践的な教育プログラムを提供する社会人向け夜間大学院として発足しました。本専攻では、研究者としての教員が院生を通じて現場に触れ、院生は最新の理論やノウハウに触れることによって、教員と院生が一体となったコラボレーションが行われ、新しい何かを産み出される場の提供をねらいとしてきました。そこで、本シンポジウムにおいては、「理論と実践の融合」を共通テーマとして設定し、第1部においてその意義と必要性についてあらためて考え、さらに第2部では本専攻の修了生・在院生による報告を通じて本専攻の取組みを振り返ります。そして、本専攻の将来展開のあり方をともに考えたいと思います。

【第1部】 9：30－13：00
総合司会 阪口 要氏（マネジメント専攻・教授）

9：30－9：45 挨拶
牟田泰三氏（広島大学長）
川崎信文氏（大学院社会科学研究所長）
戸田常一氏（マネジメント専攻長）

9：45－11：15
基調講演 高橋伸夫氏（東京大学大学院経済学研究科・教授）
講演題目「アカデミズムの役割—『虚妄の成果主義』で学んだこと—」

【概要】 理論と実践の融合とは、学者がコンサルタントの尻馬に乗って旗を振ることではない。理論がただ新しいという理由だけで高い評価を受けるのであれば、アカデミズムはたんなるファッションに過ぎなくなる。地に足をつけて考えれば、一つの現象に対して二つの学説・モデルがあれば、少なくともどちらかは間違っているのであり、ひょっとすると両方とも間違っている可能性がある。新しいものが常に正しいわけでもない。何が正しいのかはフィールドのデータと事実が決めることである。そこに学問の進歩があり、理論と実践の接点がある。

高橋伸夫教授の紹介

【専門】 経営学
経営組織論（組織設計論・組織活性化・ぬるま湯的体質・近代組織論の生成・組織学習論）
意思決定論（決定理論・ゴミ箱モデル・やり過ぎし・意思決定原理）

統計調査論(統計調査法・コンピュータ統計学)

【略歴】1957年 北海道小樽市生
1980年 小樽商科大学商学部卒業
1984年 筑波大学大学院社会工学研究科退学
1984年 東京大学教養学部助手(統計学)
1987年 東北大学経済学部助教授(経営学総論)
1991年 東京大学教養学部助教授(統計学・経営政策科学)
1994年 東京大学経済学部助教授(経営学・経営組織論)
1996年 東京大学大学院経済学研究科助教授(経営学・経営組織論)
を経て、1998年から現職。学術博士(筑波大学, 1987)。

【研究業績：著書(単著)に限定】

1. Design of Adaptive Organizations: Models and Empirical Research.
Lecture Notes in Economics and Mathematical Systems, Vol. 291.
Springer-Verlag, Berlin Heidelberg New York, May 1987. (組織学会賞「高宮賞」受賞)
 2. 『組織活性化の測定と実際』日本生産性本部, 1989年12月.
 3. 『経営統計入門—SASによる組織分析—』東京大学出版会, 1992年11月.
 4. 『ぬるま湯的経営の研究』東洋経済新報社, 1993年1月. (経営科学文献賞受賞)
 5. 『組織の中の決定理論』(シリーズ 現代人の数理 7) 朝倉書店, 1993年9月.
 6. 『経営の再生—戦略の時代・組織の時代—』有斐閣, 1995年5月.
(韓国語版 李龍善訳, NANAM, Seoul, 1998年5月) (新版, 有斐閣, 2003年3月)
 7. 『できる社員は「やり過ぎず」』ネスコ / 文藝春秋, 1996年10月.
(日経ビジネス人文庫版, 日本経済新聞社, 2002年7月) (文春ウェブ文庫版, 文藝春秋, 2003年3月)
 8. 『日本企業の意思決定原理』東京大学出版会, 1997年10月.
 9. 『鉄道経営と資金調達』有斐閣, 2000年8月. (交通図書賞受賞)
 10. 『虚妄の成果主義—日本型年功制復活のススメー』日経BP社, 2004年1月.
 11. 『育てる経営』の戦略—ポスト成果主義への道—』講談社選書メチエ 講談社, 2005年4月.
- ほか、著書、論文多数。

11:20-13:00

パネル討論 テーマ『社会人大学院に対する期待と現実：理論と実践の融合の側面から』

【概要】 パネル討論会においては、社会人を対象とした高等教育の意義と実態をどのように認識されているか、また、マネジメント専攻の設立趣旨である「理論と実践の融合」についての取組み紹介や課題整理、それに対する意見交換、さらには、社会人を対象とした高等教育に対しての注文や方向づけについて、フロアーとの質疑応答を交えて進めます。次の方々にご登壇いただきます。

パネリスト 松坂敬太郎氏 (中国地域ニュービジネス協議会会長、ヒロボー(株)代表取締役社長)
山本一隆氏 (広島経済同友会代表幹事、(株)中国新聞社代表取締役副社長)
伊藤敏安氏 (地域経済システム研究センター長・教授)
井上善海氏 (マネジメント専攻・教授)

助言者 高橋伸夫氏 (同 上)
司会 戸田常一氏 (同 上)

13:00-14:00 【昼食】

【第2部】 14:00-17:10 修了生・在院生による報告会（理論と実践の融合・事例紹介）

【概要】 第2部の報告会は、設立5周年を契機として、マネジメント専攻がこれまでにこなってきた教育・研究を広く社会一般に理解いただくことをねらいとしています。本専攻の理念である「理論と実践の融合」をふまえ、本専攻の教育・研究の内容および水準を修了生・在院生によって発表いただく場として報告会を企画しました。このため、報告のなかでは、マネジメント専攻が掲げてきた「理論と実践の融合」という観点から、6人の方々より次のような流れもしくは内容を含む形で報告いただきます。①問題：職場等での問題意識、実践的課題、②解決：マネジメント専攻での研究活動と研究（修論）紹介、③実践：職場での実践、新たな課題と展望。

14:00-15:30 司会 村松潤一氏（マネジメント専攻・教授）

- 1 木下良治氏 報告題目「共同経営を行なう中小製造業に関する一考察」
- 2 宮内栄治氏 報告題目「社内ベンチャーによる人材育成効果の分析」
- 3 小玉一樹氏 報告題目「職務満足が顧客満足に及ぼす影響について」

15:30-15:40 休憩

15:40-17:10 司会 藤原成幸氏（マネジメント専攻・教授）

- 4 佐々木彰氏 報告題目「食の安全・安心のためのコスト」
- 5 畠山京子氏 報告題目「広島市における保健福祉行政と被爆者援護」
- 6 西本志乃氏 報告題目「日本人と中国人の協働環境における職務価値観のギャップについて」

17:30-19:30 懇親会（会場：料亭「久里川」、東千田キャンパスより徒歩5分）

懇親会のご案内

シンポジウム終了後、下記のとおり料亭 久里川において懇親会を開催いたします。出欠については、シンポジウム参加申込書にご記入いただき、3月21日（火）までにお知らせ下さいませようお願い申し上げます。なお、会費につきましては、当日会場にて申し受けさせていただきます。

記

日時： 2006年3月25日(土)午後5時30分～7時30分

会場： 料亭 久里川

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目2-3

TEL 082-245-2854

会費： 5,000円

* 当日会場にて申し受けさせていただきますようお願い申し上げます。

(料亭久里川 地図)

